

社令部 河井
報道関係各社御中

1992年 6月16日

日 本 科 学 者 会 議
事務局長 河井 智康

PKO協力法の国会通過に際しての事務局長談話の発表について

6月15日衆議院本会議は、PKO協力法案について、異常な事態の中で採決を強行した。私ども日本科学者会議は、本件に関し、二度にわたる声明を発表するとともに、5月末の定期大会においても、PKO法案に反対する決議を採択し発表しました。この重大な事態にあたり、下記の事務局長談話を発表しましたので、送付いたします。よろしくお取り扱いのほどお願い申し上げます。

記

事務局長談話

PKO協力法の国会通過のいきさつは、日本の平和と民主主義の将来に関し、強い危惧を抱かせる。かつて日本軍国主義に侵略されたアジア諸国民が今回のPKO協力法の実現に不安を感じ反対していることは、この間の従軍慰安婦問題等での日本政府の対応を見ても当然である。また同時に、自衛隊の存在とともにその海外出動という、二重の憲法違反の法律を単純多数の力により強行採決したことを深く憂慮する。本来、憲法問題であれば国会の3分の2以上の多数と国民投票が必要であることをみれば、今回の国会審議がいかに民主主義に反するものであったかは明白である。

さらに現在、カンボジア情勢の変化、PKOに関する国連での見直しなどが進みつつあるとき、法律をめぐって行われた論議も不十分であったことが明らかになりつつある。このようなずさんな論議と法律によって日本の将来を左右されることを黙過することはできない。今後もさらにいっそう自衛隊の海外出動に反対していく決意である。

1992年6月16日

日本科学者会議事務局長 河井 智康